

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

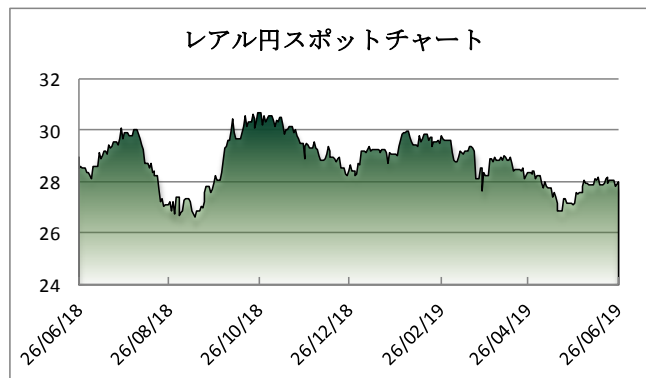
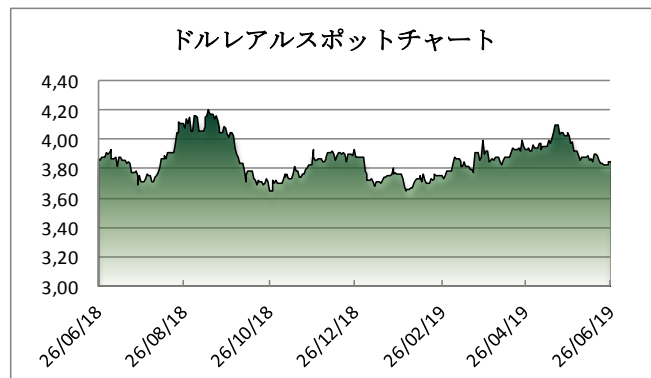
マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、年金法案の下院特別委員会での票決日程で様々な憶測が報じられる中、トランプ大統領がG20大阪サミットで中国に対して追加関税を賦課する可能性について言及したことでややリスク回避の動きが優勢となり、一時3.85台後半までレアル売りが進行した。ボベスパ指数は引き続き大台の10万ポイントを維持している。同大統領は昨日、FOXビジネスとのインタビューにおいて、「習近平国家主席との会談後に貿易合意に関して進展がない場合、米国は中国製品に大規模な追加関税を賦課する」と発言。「中国に関するプランBは、月間ベースで巨額のお金を徴収し、中国とのビジネスを徐々に減らすというもの」と述べた他、中国のみならず、ドイツやベトナムなど、貿易相手国を幅広く批判。米国の対中関税を受けて企業が生産拠点を中国からベトナムに移していることに関して質問されると、ベトナムを「悪用者」と表現した。ブラジル国内では引き続き年金法案の行方に焦点があたっている。下院特別委員会での票決実施は当初今週予定されていたが、一部の中道政党を中心に法案の修正を迫る動きが強まっており、PSDB(社会民主党)は、「不可能とは言わないが、今週票決を実施することは非常に困難である」との見解を示している。なお、ブルームバーグ社が行ったサーベイによると、委員会を構成する49人の議員の内、少なくとも30人が法案に賛成票を投じると見込まれている(通過に必要な賛成票は25票)。Maia下院議長は法案に州政府と地方自治体を含めたい意向を示しており、その場合、票決は最大で来週火曜日まで遅延する可能性が高いと指摘している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	6月25日	6月26日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,8492	3,8441	-0,13%	-4,44%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	27,84	28,03	0,68%	3,17%	30,08	26,68
	対ユーロ	BRL	4,3765	4,3725	-0,09%	-3,03%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	107,20	107,79	0,55%	-1,39%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	121,84	122,54	0,57%	0,07%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	100.093	100.689	0,60%	7,54%	102.617	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	152,90	152,20	-0,46%	-15,64%	209,52	148,22
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7,70	7,60	-1,30%	-14,12%	9,34	7,60
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,03	6,03	-0,08%	-5,49%	6,69	5,95
3 Months US Dollar Libor		%	2,31125	2,32988	0,81%	-7,72%	2,8039	2,3113
CRB Index (国際商品指数)		Index	180,88	182,36	0,82%	2,09%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。